

中京 No.188 NEWS

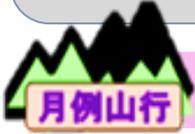


令和6年10月3日

発行所：中京山岳会

編集人：織田善夫

事務所：一宮市明地森下27 酒井方
〒494-0012 ☎ 0586-68-0606



月例山行

阿寺山地・白草山 641m

9月15日(日) L柴橋、伴野、市橋、中村

▲「曇りのち小雨」という天気予報にすがって出発した。道中はずっと小雨であった。予定どおり10時ごろ駐車場に到着したが、他の車は1台も見当たらない。

10:15に黒谷林道入口をめざして出発。すぐに着くはずがなかなか入り口のゲートが見当たらない。実はリーダー柴橋の勘違いで反対方向へ進んでいたのだ。というわけで、引き返したが往復で40分もの時間と体力を無駄にすることとなった。(皆さんすみません!)



▲ともあれ、黒谷林道から登山口にたどり着いたのは計画よりほぼ1時間遅れの11:50。登山道に入ると、なかなかの勾配と岩がゴロゴロした道が続く。気温は20℃前後のはずだが雨具を着ているのでとにかく暑い。最初の失敗も響いて柴橋の足が非常に重い。やたら小休止をして皆さんに迷惑をかけ、ヨレヨレになって白草山山頂に到着したのは13:40ごろであった。天気が良ければ持めるはずの御嶽の雄姿も霧の中。遅めの昼食で少し元気を取り戻し、14:00に下山開始。16:10に無事駐車場へ戻ることができた。反省しきりの山行であった。—記録：柴橋

9月22日(日) 錫杖ヶ岳 676m

L 伴野、市橋、中村

▲8:15登山開始。所要3時間で11:45終り。頂上直下の岩場目前で雨。雨具着用、滑りやすいので鎖とロープが有難い。雨も止み、霧も少し晴れ、錫杖湖が見えた。こんな天気に関わらず6組の登山者、低山とは言え後半はかなり急登で侮れない。足元が悪い中、皆無事に下山できてホッとした。 — 記録：伴野



錫杖ヶ岳頂上

御嶽の噴火から10年



平成26年9月27日

追悼登山

惨事から5年後の令和元年10月6~7日、織田、市橋、中平、瀬尾で女人堂から紅葉の山腹を登り二の池山荘で泊、翌日濃いガスの中剣が峰へ、頂上奥社へ参拝した。

※比較的登り易いとは言え3000m級の山である。9月27日、当時この時期に頂上に一般の登山者がこんなに多く居るとは思ってもみなかった。噴火事故の翌日、複数のマスコミから照会の電話があった。そっけない対応をしたかな?と少しばかり反省している。—Y.O

危険!! 富士山は3776m

■真夜中の富士山 9合目に120人野宿、国籍不明の集団が“弾丸登山” ご来光目当てか
テレビ朝日系(ANN)



危険な“弾丸登山”